

NDC café 2024

ゆる〜く、楽しく
歯科臨床のことを語り合しましょう

2024年4月21(日曜) 14:00~16:00

会場：上所歯科耳鼻科

〒950-0971 新潟市中央区近江1丁目2-3

([https:// kamitokoro-clinic.jp](https://kamitokoro-clinic.jp))

●NDC 講演会

「口腔環境への視点と病態への
様々な対応」



講師：倉嶋敏明 慧真会 倉嶋歯科クリニック

抄録は裏面に掲載

NDCはコミュニケーションと、臨床における
なぜ？という疑問に答えるカジュアルな場です。今回は高齢者でも
適用しやすいインプラント治療(IOD,IARPD)に関する講演です。

運営協賛金：一般5000円(従業員2名まで無料)，勤務医3000円，
歯科技工士・衛生士1000円，研修医・大学院生・学生無料

申し込み期限：4月1日までに下記に，お名前と参加人数を記載して
お申し込みください(募集定員30名)

申し込み

長岡デンタルコミュニケーションズ
Email:2010nagata@mbr.nifty.com



2010nagata@mbr.



nifty.com



Keishinkai Kurashima Dental Clinic

NDC 講演会 抄録

「口腔環境への視点と病態への様々な対応」

慧真会 倉嶋歯科クリニック 倉嶋敏明



歯科臨床は年齢・性別・欠損形態・対咬関係・口腔内意識(口腔衛生的審美的、機能的等) 様々な要素が絡み合う中で診査診断し、患者個別の環境下で治療方針を吟味検討していかねばならない。また診断は一つでも処置・補綴法は複数に渡りそれぞれに利点・欠点あるいは特異性が存在するためその選択には苦慮することも多い。

この度のご依頼では、補綴(IOD・IARPD)についてとのご要望をいただいた。IODの認識は古いが、IARPDについての用語認識の歴史は永くはないが、すでに大学レベルでも頻繁に使用されている用語となった。2015・2022年のOJ年次ミーティングのシンポジウムにて補綴の一手法としてのIARPD；「Implant Assisted Removable Partial Denture」についてお話しさせていただいた。20年ほど前から本治療法に携わり様々な欠損形態に応用しそれなりの時間を患者と共有してきたが、その後の補綴学研究者から発表された論文内容と照らしても、理論的に間違った部分があったことに安堵を感じつつ、様々な臨床医、大学研究者との意見交換や臨床例に触れながら私が感じているIARPDについて経過も合わせて供覧できたらと思う。また2022年に私自身改めて認識した「クラニオフィェイシャル・グロス」についても自験例の観察から、今後の対処やヒントをディスカッションするきっかけとして供覧してみたい。

私自身の勉強不足もあり皆様に満足・納得いく内容には届かないかもしれないが、皆様方からも多くのご意見をいただきながら有意義な時間を共有したいと思う。

倉嶋敏明 略歴

- 1985年 東京歯科大学卒業
- 1985～1991年 慶應義塾大学医学部慶應義塾大学医学部 口腔外学教室
- 1991年 新潟市開業(倉嶋歯科クリニック)
- 2004年 デンツプライシロナ社公認 インプラントインストラクター(Xive Implant System)
- 2009年 医療法人社団 慧真会 倉嶋歯科クリニック理事長
- 2012年 日本口腔インプラント学会専門医
- 2013年～2019年 新潟再生歯学研究会会長 (現在 会員)
- 2014年～2016年 大阪大学大学院 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 非常勤講師

NDCホームページ

<http://mitt.mittjp.com/>

